

さくら市議会だより



2009. 8. 1
〈平成21年〉

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6177 FAX486-2508
佐倉市ホームページ http://www.city.sakura.lg.jp メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp

6月定例会 一般会計補正予算など19議案を可決



耐震補強建築工事がおこなわれる「西志津小学校」

6月定例会は、6月8日から29日までの22日間にわたり開催しました。今定例会では、「佐倉市総合計画審議会条例の一部を改正する条例制定について」など議案16件、諮問3件が提出され、すべて原案のとおり可決・同意しました。

請願・陳情については『佐倉市に「ファミリーサポートセンター」事業を早急に実施することを求める請願』など6件、議員発議については「志津公民館の早期改築を求める決議」など14件を提出し審議しました。

一般質問には、各会派の代表質問に7人、個人質問に11人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

5月臨時会

5月15日臨時会の議案と議決結果

・右欄は本会議の議決結果 ○全員賛成、○賛成多数

市長提出議案	※丸数字は議案番号		
①平成21年度佐倉市一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ1億812万3000円の増額補正を行うもので、予算総額は370億7968万3000円。内容は、千葉県の「緊急雇用創出事業」及び「ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用した本市が行う身体障害者相談支援委託事業、文化財収蔵資料整理事業などに要する経費の追加。		原案可決	○
②佐倉市手数料条例の一部を改正する条例制定について 長期優良住宅の普及の促進に関する法律が平成21年6月4日から施行されることに伴い、同法に基づく長期優良住宅建築等計画認定などの審査手数料を新たに定めようとするものなど。		原案可決	◎
③佐倉市交通安全条例の一部を改正する条例制定について 佐倉市交通安全対策協議会の委員委嘱区分から市議会議員を削除するとともに、委員の総数を20人から17人に削減するもの。		原案可決	◎
④佐倉市災害共済条例の一部を改正する条例制定について 佐倉市災害共済審査委員会の委員委嘱区分から市議会議員を削除するもの。		原案可決	◎
⑤佐倉市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例制定について 佐倉市青少年問題協議会の委員委嘱区分から市議会議員を削除するものなど。		原案可決	◎
⑥佐倉市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について 佐倉市営住宅管理運営委員会の委員委嘱区分から市議会議員を削除するほか、市職員を削除するもの。		原案可決	◎
⑦専決処分の承認を求めることについて 佐倉市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例制定であり、地方税法等の改正に伴い、平成21年度評価替えに当たる平成21年度から平成23年度までの土地に係る固定資産税について、平成20年度以前に引き続き負担水準のばらつきを解消するため、現行の負担調整措置に基づき負担の均衡化を図る措置を継続するものなど。		承認	○
⑧専決処分の承認を求めることについて 佐倉市都市計画税条例の一部を改正する条例制定であり、地方税法の改正に伴い、平成21年度から平成23年度までの土地に係る固定資産税の負担調整措置と同様の措置を講じたもの。		承認	○
⑨専決処分の承認を求めることについて 全額国庫補助で平成20年度中に市町村へ交付される予定であった子育て応援特別手当支給費用のうち、事務費分を除く手当分の20パーセント相当が平成21年度に交付されることとなったため、平成21年度予算に1656万円の追加補正を行ったもの。		承認	○
⑩監査委員の選任について 議員のうちから選任する監査委員に押尾豊幸議員を選任するもの。		同意	◎

議長に 櫻井道明議員 副議長に 兒玉正直議員 を選出

議長選挙の結果	
○櫻井道明	13票
川名部実	8票
白票	9票

副議長選挙の結果	
○兒玉正直	16票
白票	13票



こだま さなお
兒玉正直 副議長

第51代副議長。平成15年4月初当選以来、連続2期。
(所属会派:日本共産党)



さくらい みちあき
櫻井道明 議長

第53代議長。平成15年4月初当選以来、連続2期。第49代副議長を務める。
(所属会派:さくら会)

5月臨時会を5月15日と25日に開催しました。15日には「平成21年度佐倉市一般会計補正予算」など議案10件が提出され、すべて原案のとおり可決・承認・同意しました。

さらに、正・副議長の選挙を行い、議長に櫻井道明議員、副議長に兒玉正直議員を選出、その他各組合議会議員の選挙、各常任委員、議会運営委員の選任を行いました。

25日には「一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について」の議案1件、「議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」の議員発議1件を審議し、2件とも原案のとおり可決しました。

5月25日臨時会の議案と議決結果

市長提出議案	※丸数字は議案番号		
①一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について 平成21年6月に支給する一般職の職員の期末手当及び勤勉手当について、5月1日付け人事院勧告及び5月15日付け千葉県人事委員会勧告に準じ、暫定的な措置として支給月数の一部を凍結する特例措置を講ずるほか、特別職の職員等についても同様の措置を講ずるもの。内容は、一般職の職員の期末手当0.15月分及び勤勉手当0.05月分の減、特別職の職員の期末手当0.2月分の減など。		原案可決	○

議員発議	※丸数字は議案番号		
①議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	○

特別表彰議員在職30年

富塚 忠雄 議員

一般表彰議員在職10年

藤崎 良次 議員
押尾 豊幸 議員
檀谷 正彦 議員

表
彰

◆全国市議会議長会より
ました。
次の議員が表彰され
貢献された功績に対し、
市政の向上、振興と
自治の伸張、発展に
議員として、地方

佐倉市議会“議会改革”について

議会改革特別委員会は、市民に開かれた議会を目指し、議会改革へ向けた検討を継続して行っています。

6月末、議会情報の公開性を高めるため、市議会だよりへの議案に対する賛否の掲載等、紙面の拡充の検討を議長に申し入れました。

また、議会基本条例の制定に向け、先進市である所沢市議会への行政視察を計画しています。

《議会改革特別委員会》平成21年3月24日設置
森野 正 (委員長) 富塚 忠雄 (副委員長)
入江 晶子 兒玉 正直 藤崎 良次 押尾 豊幸 望月 清義

市政に関する

一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたって質問することを行います。

6月定例会では、15日から18日までの4日間、わたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されました。その一部を掲載します。

詳細については、市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

代表質問

さくら会 友清

中村孝治

市長は、平成19年4月に就任して以来、3年目の年を迎えている。

この間、自ら掲げたマニフェストの実現にどのように取り組んできたのか、自己評価と今後の市政運営に対する決意を聞きたい。

政治姿勢について

市長は、先の2月議会において、費用対効果や財政状況を挙げて、プレミアム商品券の発行は難しいとの見解であった。

厳しい経済情勢の下、近隣市を含め、全国の半数以上にあたる97.4%の市区町村においては、プレミアム商品券が発行されるようである。佐倉市においても、市民の消費意欲を刺激して地域経済を後押ししていくことが必要と考えるが、プレミアム商品券を発行し、地域経済の活性化をしていく考えはないか。

2月議会の時点においては、財源や実施主体の問題を含め、地元商店会などに、機運の高まりと自発的な取り組みがなければ、結果的に経済効果に結びつかないとの思いがあった。しかし、去る5月に、商工会議所から提出を受けた要望では、個別店舗の独自のサービスや、工夫をこらしたプレミアム商品券発行の措置が示された。市民への還元効果も期待できる内容であることや、国の21年度1次補正で、予算措置の目途が立ったことから、できるだけ早く実施していく。

さくら会

桐生政広

働きかけ問題について
市職員に対する議員による不当な「働きかけ」問題について、2月議会に引き続き質問する。

不当な「働きかけ」から職員をどのようにして守るか。

不当な「働きかけ」を受けている、受けるおそれがある場合、千葉県警察から派遣された警察官を同席させて対応する。

警察官が同席できないときは、複数の職員で対応し、録音等を行うことで、客観的な事実として記録する。また、訴訟が提起されたような場合は組織を挙げて対応する。さらに、訴訟費用を補助する制度の検討や、告訴・告発等の効果的な対抗措置を講ずるため専門家を変えた委員会等の設置などを進める。

佐倉市情報公開条例の一部改正について、国の法律との整合性は図られているのか、伺う。

佐倉市では、国に先駆けて、平成8年10月から情報公開条例を施行している。平成13年施行の国の法律では適用を受ける機関は国の機関とし、地方公共団体は該当していない。一方、この法律は地方公共団体が保有する情報の公開に努めることを規定している。その一層の公開を図ろうとする法律の趣旨に合わせ、改正するものである。

資源回収とゴミ減量化について
子ども会や自治会、PTAなどにより資源の回収活動が行われている。この活動はリサイクル意識を高め、ゴミの減量化や地球温暖化の防止にもつながる有意義な活動であり、地域のコミュニティや子どもたちの環境教育となるすぐれた地域活動と評価している。市では、古紙類の市場価格が高騰したという理由で平成17、18年度に報償金を大幅に減額している。価格が下落している現在、資源回収活動が安定的に継続できるように、直ちに報償金の見直しをすべき

と考えるが、いかがか。
厳しい財政状況ではあるが、資源回収活動に継続して取り組めるよう、団体への報償金と回収業者に対する奨励金とも引き上げの方向で進めていく。

公明党 森野正
国々の経済対策を受けての佐倉市の取り組みについて
昨年度の第2次補正予算で定額給付金の支給が決まり、3月5日には、全国で一番目となった青森県西目屋村で給付が開始された。佐倉市は5月28日に給付を開始したが、全国1799市町村で一番遅い給付開始となった。佐倉市は、なぜ一番遅くなったのか。

近隣市町村などは、印刷などは委託業者と随意契約を行っていたが、当市は一般競争入札を行い、契約まで一カ月程度必要となった。そのため給付開始が遅くなった。

先の国の補正予算の中で、スクール・ニューディール構想が示され、学校校舎の耐震化、太陽光発電利用による省エネ改修、学校ICT環境整備事業(デジタルテレビ・電子黒板・パソコン等の整備)に一兆一億円を超える予算が計上された。学校耐震化の前倒しなど積極的なこの予算を利用すべきであるが、市の取組みをうかがう。

校舎耐震化について、来年度に予定していたものを今年度以前倒し、出来ればと考えている。ICT化についても、今回の国の経済対策を有効に活用し、市負担の軽減を図ることで、教育環境の施設改善に努める。

保育園待機児童を解消するため
の早急な取り組みについて
①入園希望者が急増しているが、緊急を要する方が入所できてい

るのか。②今後の保育需要と施設整備の見直しについて。③待機児童が認可外保育園に入園する場合に保育料の助成をするなど早急な支援策を求めるが、どうか。

ひとり親世帯や別居中、生活保護を受けている場合などは、基本指数に調整指数を加算し、優先度を高くしている。②昨年度実施したニーズ調査を踏まえ、後期行動計画の中で検討する。③引き続き検討課題とする。

見直しにあたり住民意見が十分反映される方策を考えているか。②佐倉の文化・景観等を生かした住民参加のまちづくりを実質的に進めるために「まちづくり条例」を視野に入れた独自の取組みを求めるがどうか。

市民の関心を高めるために創意工夫をしながら努力する。②現在の開発指導要綱など条例化することで機能がさらに向上する可能性があるものは検討を進めたい。地方分権の中で、自治体独自のルールづくりは不可欠であり、他市の事例研究を含め、今後の検討課題としていきたい。

平和施策について
平和市長会議への加盟による具体的な施策について伺う。

当市の目指す核兵器廃絶と世界の恒久平和を実現するために、非常に効果があると判断し加盟した。平和事業の機会を通じて核兵器廃絶の意識を高めるよう工夫する。8月のオランダツアーでは佐倉市の平和への取組みをスピーチの中で伝えたい。

奨学金制度の運用について
セーフティネットとして、親の貧困を子どもに連鎖させない取組みが重要になっている。昨年度53名の申請者のうち成績要件不足などの理由で6名却下されたが、予算は残っていた。

制度の趣旨を生かすために、運用の改善を求める。
条例および規則に基づく補助制度であり、資格基準の弾力的運用を行うと可否判断が不統一となるため、今後とも一定基準のもとに交付を行う。

慢性的な職員不足の原因はどこにあるのか。過密状態でケガの心配もある。職員の配置数を見直し、正規職員の採用、学校や父母との交流等について問う。

正規職員の配置については職員数の削減を進めている中であり困難だ。保護者・学校との連携は大切であり、進めていく。

市長の政治姿勢について
現予算書では、市職員地域手当が7%と記されている。しかし現在7.5%支給である。条例は7.5%であるが、予算書を無視した形で不誠実に超過支出して、問題ないかと考えているのか?

2月議会で審議された条例改正し、適正に支給している。
H20年度佐倉市特定健康診査の個別検診は自己負担が3千円と高く、厚労省内部でも有名のようなだ。血糖値とヘモグロビン検査は、実際には両方の検査を受けないのに両方の検査費用を計上していた。なぜか?

昨年度の受診実績により、今年度は減額をした。
厚労省の昨年1月の民間企業退職金調査では、大卒35年以上勤務の定年退職で176.4万円である。昨年度佐倉市定年退職者平均は279.9万円であり、佐倉市は103.5万円高い。職域加算年金を一時金換算すると合計退職金額は幾らになるか?

数字の一人歩きも考えられるので比較は控えて頂く。
昨年度の支給状況は?
一昨年度定年退職者の平均月額は、厚生年金相当部分で約

11万5千円、職域年金相当部分で約2万3千円、合計約13万8千円である。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)でご覧ください。

用語解説

※【スクール・ニューディール構想】
4月に政府が経済危機政策において提唱。21世紀の学校にふさわしい教育環境の抜本的充実を図る。今後3年程度で、全国公立小中学校に対し、耐震化、エコ化、ICT化を進める。地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用が可能である。

個人質問

志津霊園問題について

中原英雄
①民事勝訴したうち未回収5億1千万余の回収の目処は？
②開通までの年限と住民投票は？

①石の宴(株)不動に対する破産手続が開始。可能な限り回収を図る。②約6年。住民投票は現時点では考えていない。

佐倉商工会議所の在り方

①会員数の減少、組織率が50%を割る現状での、佐倉商工会議所の在り方について伺う。

① 会員増対策で土日に起業・創業セミナーなどを開催。魅力ある会議所となるよう期待する。

低負担・高福祉の現況

① 公約で掲げていたが、高福祉は何か具現化した？今後は？
② 来春開所に向け整備中の診療所併設の特養の誘致等である。

① 通勤快速の増発②千葉駅最終列車接続時間の改善などの要望事項が決定された。市民の利便性確保に向けて努めていく。

地域活動の充実に向けた取組み

① 少子高齢化・核家族化が進む中、地域活動を核としたコミュニティ・支え合いが今後益々大切となる。地域活動を支援し充実させる取組みは？
② 行政の支援として、地域ま

ちづくり協議会事業がある。原則一小学校区単位だが、地域内に二校ある場合、自治会を二分することは考えていない。近隣自治会や各種団体の皆様とともに設立され、事業に取り組んでいただければありがたい。

① 高齢者クラブ活動の充実に向けた支援策として、構成団体一律同じでなく、実態に応じて増額助成を図るべきでは？

② 会員数要件や助成支援等を含め要綱の見直しを検討する。

JR佐倉の終電時間について

① 東京近郊の他の路線と比べ、東京発の佐倉への最終電車は22時台で1時間早い。他の路線と同じ23時台発にできないか。

② 6月の総武本線対策部会、① 通勤快速の増発② 千葉駅最終列車接続時間の改善などの要望事項が決定された。市民の利便性確保に向けて努めていく。

市民ネットワーク 伊藤壽子

① 市民ネットワーク 伊藤壽子 農業殺虫剤散布・化学物質過敏症(CS)問題について
② 公共施設、保育園、学校等での農業・殺虫剤等の使用状況は各担当課でまちらであり、

相変わらず有機リン農薬が多用されている。CS患者の健康被害だけでなく、市民の健康を守る観点に立ち、情報共有と対策について伺う。

市民ネットワーク 五十嵐智美

① 市民ネットワーク 五十嵐智美 市民の利用しやすい公共施設への取り組みについて
② 施設の具体例として、利用者の多い志津コミセンのホールは音響が悪いという市民から声が改修前からある。また誰もが使えないバリアフリー化としてのオストメイト対応トイレの設置は統一基準がなく施設によって仕様に違いがあるが、各施設で対応という状況。全ての公共施設の管理・運営を担当ごとではなく一元的に取りまとめて対応し、市民の声を反映する必要はあるが、いかがか。

市民ネットワーク 上ノ山博夫

① 市民ネットワーク 上ノ山博夫 バイオマス構想について
② バイオマスを活用している。全体の構想、システム作りについては調査研究を進めている。観光スポットでの施設整備について
③ 佐倉順天堂記念館のトイレは少なく、まちな印象を大きく左右するので早急な改善を望む。
④ 県指定文化財だが指摘のようには不自由であるので県と協議し、和式から洋式に変更して見学者の利便性の向上を図りたい。

市民ネットワーク 柏木恵子

① 市民ネットワーク 柏木恵子 ファミリーサポート事業について
② 県下20市が実施のファミリーサポート事業、佐倉市での早期実施はできないか伺う。
③ 21年度の実施計画見直しにおいて、財政状況を勘案しながら実施に向けて検討していく。
④ 女性特有のがん検診、無料クーポンについて
⑤ 国の21年度補正予算に計上された女性特有のがん検診推進事業において、乳がん・子宮がんの無料クーポン券の配布(年齢設定あり)などが開始となる。スピーディな交付と受診率向上への市の取組みを伺う。
⑥ 準備を進め、9月補正予算に計上し、議決された後、事業実施する。受診率向上へ向け、広報誌等により啓発を図る。

市民ネットワーク 山口文明

① 市民ネットワーク 山口文明 精神障害者対策をどう進めるか
② 精神障害者の対策は、その他の障害福祉の対策より40年も立ち遅れている。医療、保健と福祉の有機的な連携体制を確立するために、市では、今後どのように推進していくか。
③ 相談支援事業所での精神障害者の相談件数は2千2百余件(平成20年度)と大幅に増加してきている。ホームヘルパーや

一般質問通告要旨

代表質問

※は持ち時間2時間、()内は会派名

中村 孝治 (さくら清友会) ※

- ① 政治姿勢 ② 健康福祉問題
③ 建設問題 ④ 教育問題

桐生 政広 (さくら会) ※

- ① 政治姿勢について ② 福祉問題について
③ 環境問題について ④ 水道問題について
⑤ 教育問題について

森野 正 (公明党)

- ① 国の経済対策への取り組みについて
② 新型インフルエンザ対策について

入江 晶子 (市民ネットワーク)

- ① 保育園待機児童を解消するための早急な取り組みについて
② ひとり親家庭への支援の充実について
③ 都市マスタープランの見直しと今後のまちづくりのあり方について

萩原 陽子 (日本共産党)

- ① 平和市長会議加盟を活かした施策について
② セーフティネットの充実
③ 子育ての不安と負担を軽減する施策について
④ 地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用について

藤崎 良次 (佐倉市民オンブズマン)

- ① 働きかけ問題、文書管理、特定健診等への市長の政治姿勢
② 佐倉市職員退職金、年金等 ③ 生活保護の適用

冨塚 忠雄 (新社会党)

- ① 地域公共交通会議について
② 高齢者運転免許自主返納支援事業について
③ 高層建築物の建設に関する高さ制限について
④ 井野長制遺跡について

個人質問

中原 英雄

- ① 佐倉商工会議所と行政 ② 志津霊園区間の道路開通への問題
③ 低負担・高福祉の現況
④ 前年度末退職職員が市の関連企業や団体への“天下り”があるかを問う

岡村 芳樹 (公明党)

- ① 地域活動の充実に向けた取り組みについて
② 介護ボランティア制度の活用について
③ 障がい者施策について ④ 認知症対策について

小須田 稔 (公明党)

- ① 交通対策について ② 子育て支援について
③ 公共施設の利便性について ④ 教育問題について

神田 徳光 (公明党)

- ① 自殺予防について ② 児童虐待対策
③ 教育問題

伊藤 壽子 (市民ネットワーク)

- ① 市長の政治姿勢について
② 農業殺虫剤散布・化学物質過敏症問題について
③ 地域医療問題について

五十嵐 智美 (市民ネットワーク)

- ① 介護保険の現状と課題について
② 市民の利用しやすい公共施設への取り組みについて
③ 自殺予防対策について

上ノ山 博夫 (佐倉市民オンブズマン)

- ① 市長声明等市長の政治姿勢について
② 安心安全な生活の確保について

柏木 恵子 (公明党)

- ① 子育て支援について ② がん検診率の向上について
③ 特定検診について

山口 文明 (さくら会)

- ① 福祉について ② パラ園について
③ 公文書館について ④ 教育について

勝田 治子 (新社会党)

- ① 男女平等参画社会に関する市民意識調査報告書と市の男女平等推進策について
② 保育園の整備と保育サービスの充実について
③ ファミリーサポートセンターの設置について
④ 子どもの医療費助成拡大について
⑤ 介護サービスの充実と介護サービス利用待機者の解消

工藤 啓子

- ① 高齢者の福祉・介護問題について
② 教職員の勤務実態調査について ③ 志津霊園道路問題

◎上記の通告内容は、佐倉市議会会議規則第60条に基づき質問者から議長に文書で通告のあった内容を基に、大項目のみ掲載しています。

自殺対策について

① 全国的に自殺の予防を取り組む自治体が増えている。佐倉市も積極的に対策を行うべきと考えられる。平成20年度から心の健康相談を実施するとあったが、実施状況を伺う。また、自治会等と連携し、地域での見守り活動など推進してはいるか。

② 平成20年度事業として、精神科医による心の健康相談を3回、定員12人で実施。10人の利用があった。今年度は、6回、定員24人分に拡充。自殺対策は保健、福祉、市民生活にまたがる総合対策であるので、関係部署の連絡体制を整備し、今後の事業について検討、計画する。その中で、地域との連携なども検討してまいりたい。

市民ネットワーク 伊藤壽子

① 市民ネットワーク 伊藤壽子 農業殺虫剤散布・化学物質過敏症(CS)問題について
② 公共施設、保育園、学校等での農業・殺虫剤等の使用状況は各担当課でまちらであり、

相変わらず有機リン農薬が多用されている。CS患者の健康被害だけでなく、市民の健康を守る観点に立ち、情報共有と対策について伺う。

市民ネットワーク 五十嵐智美

① 市民ネットワーク 五十嵐智美 市民の利用しやすい公共施設への取り組みについて
② 施設の具体例として、利用者の多い志津コミセンのホールは音響が悪いという市民から声が改修前からある。また誰もが使えないバリアフリー化としてのオストメイト対応トイレの設置は統一基準がなく施設によって仕様に違いがあるが、各施設で対応という状況。全ての公共施設の管理・運営を担当ごとではなく一元的に取りまとめて対応し、市民の声を反映する必要はあるが、いかがか。

市民ネットワーク 上ノ山博夫

① 市民ネットワーク 上ノ山博夫 バイオマス構想について
② バイオマスを活用している。全体の構想、システム作りについては調査研究を進めている。観光スポットでの施設整備について
③ 佐倉順天堂記念館のトイレは少なく、まちな印象を大きく左右するので早急な改善を望む。
④ 県指定文化財だが指摘のようには不自由であるので県と協議し、和式から洋式に変更して見学者の利便性の向上を図りたい。

市民ネットワーク 柏木恵子

① 市民ネットワーク 柏木恵子 ファミリーサポート事業について
② 県下20市が実施のファミリーサポート事業、佐倉市での早期実施はできないか伺う。
③ 21年度の実施計画見直しにおいて、財政状況を勘案しながら実施に向けて検討していく。
④ 女性特有のがん検診、無料クーポンについて
⑤ 国の21年度補正予算に計上された女性特有のがん検診推進事業において、乳がん・子宮がんの無料クーポン券の配布(年齢設定あり)などが開始となる。スピーディな交付と受診率向上への市の取組みを伺う。
⑥ 準備を進め、9月補正予算に計上し、議決された後、事業実施する。受診率向上へ向け、広報誌等により啓発を図る。

市民ネットワーク 山口文明

① 市民ネットワーク 山口文明 精神障害者対策をどう進めるか
② 精神障害者の対策は、その他の障害福祉の対策より40年も立ち遅れている。医療、保健と福祉の有機的な連携体制を確立するために、市では、今後どのように推進していくか。
③ 相談支援事業所での精神障害者の相談件数は2千2百余件(平成20年度)と大幅に増加してきている。ホームヘルパーや

日中活動事業所などの利用も増加している中で、精神障害者に特化した相談事業を、今年6月より開始した。さらに、佐倉市障害者自立支援協議会の中に、精神障害者に対する支援の仕組みを考える部会を7月に設置し、官民協働の取り組みを始める。

新社会党 勝田治子

① 新社会党 勝田治子 ファミリーサポートセンターの設置を！
② 核家族化が進む中、厳しい経済活動の中で子育てをしている世代には、急な病気や失業等で子どもを預ける事ができるという安心サポートが必要である。保育園・一時保育・児童保育等では補いきれない保育需要にファミリーサポート事業の早期実現を求め具体的計画を問う。

③ 事業の担い手は、会員の個人情報保護や事業の安定性の確保のため、地域活動を実際に担う法人等に委託して実施することが望ましいと考える。平成21年度の実施計画策定に向け、事業の取り組み方、費用など、さらに、利用料、登録料、対象年齢、利用時間等検討していく。

教職員の勤務実態について

① 教職員の勤務実態について
② 月平均の超過勤務時間約45時間は厚労省の時間外労働の限度基準に匹敵する。教職員の勤務状況の改善を求め。
③ 人員増は県に要望、市費特別支援教育支援員も増に努める。業務の効率化にむけ一人一台のパソコン整備を実施計画にしたい。校務分掌の効率化、仕事内容の軽減化について学校を指導していく。調査結果を教育委員に報告し改善等話し合いたい。
④ 志津霊園の補償費再算定における委託契約の不透明性について

⑤ 前回と同一業者に随意契約を行ったのは不適切と考えるが、11月が最終合意の目途であり、補償物件の熟知による工期短縮・経費削減を図るため。

6月定例会の議案と議決結果 (議決 6月29日)

・右欄は本会議の議決結果 ◎全員賛成、○賛成多数、△賛成少数、※可否同数

市長提出議案 ※丸数字は議案番号、白抜き数字は諮問番号

①平成21年度佐倉市一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ1億691万9000円を増額補正するもの。歳出の内容は、JR佐倉駅と京成臼井駅を結ぶ新たなバス路線開設に伴うバスベイ設置工事費、妊婦健診に対する助成回数拡大に伴う母子保健事業費、プレミアム付き商品券発行事業に対する交付金、介護未経験者を雇用した介護関連事業者への研修費の一部を助成する雇用対策事業費など。	原案可決	○
②平成21年度佐倉市介護保険特別会計補正予算 生活対策に基づく国の平成20年度第2次補正により、介護報酬が3パーセント増額改定されたことに伴い、歳入歳出それぞれ1億9508万4000円を増額補正するもの。歳出の内容は、介護報酬の増額改定に伴う、保険給付費の増。	原案可決	○
③佐倉市総合計画審議会条例の一部を改正する条例制定について 市長の附属機関である佐倉市総合計画審議会の委員の委嘱区分から市議会議員を削除するとともに、委員の数を15人から10人以内に削減するもの。	原案可決	◎
④佐倉市ふるさとまちづくり応援のための寄附に関する条例制定について 個性豊かで活力あるふるさと佐倉のまちづくりに資するため、佐倉をふるさととして応援しようとする個人又は団体から寄附金を受入れ、寄附金を財源として各種事業を実施するに当たり、その取扱いを定めるもの。	原案可決	○
⑤佐倉市ふるさと事業基金の設置、管理及び処分に関する条例等の一部を改正する条例制定について 佐倉市ふるさとまちづくり応援のための寄附に関する条例の制定に伴い、寄附者から指定された事業の財源となる既存の5つの基金の原資として、寄附金を追加するもの。	原案可決	○
⑥佐倉市情報公開条例及び佐倉市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について 職員が職務上作成した文書に記載のある公務員の個人情報を特例的に不開示とする規定の一部を見直し、働きかけを受けた執行機関の職員が作成した報告書について、第三者の情報を除き、働きかけを行った相手方公務員の氏名、発言内容等を開示するもの。	原案可決	○
⑦佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について 平成21年3月31日に公布された地方税法の改正のうち、個人市民税からの住宅ローン特別控除など平成22年以降に施行となる規定の整備、引用条項や字句等の整理を行うもの。	原案可決	○
⑧佐倉市スポーツ振興基金条例制定について 佐倉市ふるさとまちづくり応援のための寄附に関する条例の制定に伴い、スポーツの振興に関する事業に対する寄附金を積み立て、スポーツの普及及び振興並びに市民の体力づくり及び健康増進を図ることを目的とした資金積立・処分型の基金を設置するもの。	原案可決	○
⑨佐倉市青年館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について 老朽化に伴い、見晴青年館を廃止するもの。	原案可決	◎
⑩佐倉市道路線の認定について 弥勒町地先の1路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	◎
⑪佐倉市道路線の認定について 西志津3丁目地先の2路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	◎
⑫佐倉市道路線の認定について 西志津5丁目地先の1路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	◎
⑬佐倉市道路線の認定について 井野地先の1路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	○
⑭佐倉市道路線の認定について 井野地先の1路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	◎
⑮佐倉市立西志津小学校校舎耐震補強建築工事請負契約について 佐倉市立西志津小学校校舎耐震補強建築工事について、1億2894万円をもって新日本建設株式会社と請負契約を締結するもの。	原案可決	◎
⑯教育委員会委員の任命について 田邊俊彦(たなべとしひこ)氏を任命するもの。	同意	○
⑰人権擁護委員候補者の推薦について 石渡康郎(いしわたやすお)氏を再度推薦するもの。	同意	◎
⑱人権擁護委員候補者の推薦について 加藤浩子(かとうひろこ)氏を再度推薦するもの。	同意	◎
⑲人権擁護委員候補者の推薦について 古市庄八郎(ふるいちしょうはちろう)氏を再度推薦するもの。	同意	◎

請願・陳情 ※丸数字は請願番号、白抜き数字は陳情番号

⑰「後期高齢者医療制度」を廃止または抜本的に見直し、安心できる高齢者医療制度確立を求める意見書採択の請願	不採択	△
⑱物価上昇に見合う年金の引き上げ・「生活支援金」の支給など年金制度の改善を求める意見書採択の請願	採択	○
⑲佐倉市に「ファミリーサポートセンター」事業を早急に実施することを求める請願	採択	◎
⑳「非核日本宣言」を求める意見書採択についての請願	採択	○
㉑青森県六ヶ所村核燃料再処理工場本格稼働による放射能汚染から食品の安全・環境・生産者を守るための法整備を求める請願	不採択	△
㉒佐倉市議会議員の報酬等引き下げを求める陳情	不採択	△

議員発議 ※丸数字は発議案番号

①「後期高齢者医療制度」の廃止または抜本的見直しを求める意見書	否決	△
②物価上昇に見合う年金引上げ、年金制度改善を求める意見書	原案可決	○
③「非核日本宣言」を求める意見書	原案可決	○
④青森県六ヶ所村核燃料再処理工場本格稼働による放射能汚染から食品の安全・環境・生産者を守るための法整備を求める意見書	否決	△
⑤介護保険制度における要介護認定をやめることを求める意見書	否決	△
⑥乳幼児医療費無料化を国が制度化し、財源保障を行うことを求める意見書	原案可決	○
⑦子どもの貧困と格差是正を求める意見書	原案可決	○
⑧農地法の「改正」に反対する意見書	否決	△
⑨消費税増税に反対する意見書	原案可決	※
⑩父子家庭等に対する児童扶養手当の支給等を早急に求める意見書	原案可決	○
⑪志津公民館の早期改築を求める決議	原案可決	◎
⑫ひとり親家庭の生活支援を速やかに行うことを求める意見書	否決	△
⑬新たな在留管理制度と外国人台帳制度の整備に対する意見書	否決	△
⑭核兵器廃絶に向けた取り組みの強化を求めるとともに北朝鮮の核実験に対する抗議を要請する意見書	原案可決	◎

議会の構成

各常任委員会の構成が変わりました

◎委員長 ○副委員長

総務常任委員会



押尾豊幸 櫻井道明 工藤啓子 五十嵐智美 中村孝治 ◎森野 正 ○上ノ山博夫 萩原陽子

文教福祉常任委員会



勝田治子 望月清義 兒玉正直 中原英雄 ◎山口文明 ○柏木恵子 平野裕子

経済環境常任委員会



中村克几 木原義春 檀谷正彦 藤崎良次 ◎岡村芳樹 ○入江晶子 小林右治

建設常任委員会



神田徳光 村田穰史 川名部実 小須田稔 桐生政広 ◎富塚忠雄 ○伊藤壽子 白井尚夫

●会派・各常任委員会等 議長 櫻井 道明 副議長 兒玉 正直 平成21年6月8日現在

委員会	総務常任委員会	文教福祉常任委員会	経済環境常任委員会	建設常任委員会	議会運営委員会	議会報編集委員会
会派	櫻井道明	◎山口文明 ※望月清義	檀谷正彦 中村克几	桐生政広 白井尚夫	山口文明 ◎白井尚夫	檀谷正彦
さくら会	◎押尾豊幸 中村孝治	平野裕子	小林右治 木原義春	村田穰史 川名部実	村田穰史 中村孝治	平野裕子
さくら清友会	◎森野 正	○柏木恵子	◎岡村芳樹	小須田稔 神田徳光	岡村芳樹 神田徳光	小須田稔
公明党	◎五十嵐智美	◎上ノ山博夫	◎入江晶子	◎伊藤壽子	伊藤壽子	入江晶子
市民ネットワーク	◎藤崎良次				上ノ山博夫	上ノ山博夫
佐倉市民オンブズマン						
新社会党		勝田治子		◎富塚忠雄	○勝田治子	勝田治子(座長)
日本共産党	◎萩原陽子	兒玉正直			萩原陽子	萩原陽子
会派に属さない議員	工藤啓子	中原英雄				

議席番号順、※会派代表者、◎委員長、○副委員長

●組合議会・委員会等

印旛衛生施設管理組合	入江晶子、山口文明
印旛利根川水防事務組合	川名部実
佐倉市、酒々井町清掃組合	兒玉正直、中村孝治、白井尚夫
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	富塚忠雄、桐生政広
佐倉市八街市酒々井町消防組合	藤崎良次、岡村芳樹、檀谷正彦
千葉県後期高齢者医療広域連合	工藤啓子
印旛郡市広域市町村圏事務組合	櫻井道明
佐倉市監査委員	押尾豊幸
佐倉市農業委員	森野 正、木原義春

8月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

- ◆ 議会運営委員会 8月25日(火) 時間は未定
- ◆ 初日 8月31日(月) 午後1時から
- ◆ 一般質問 9月7日(月)～10日(木) 午前10時から
- ◆ 常任委員会 9月14日(月)～17日(木)
- ◆ 決算委員会 9月18日(金)、24日(木)、25日(金)、28日(月)
- ◆ 最終日 9月30日(水) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、事前にお問い合わせください。 議会事務局 ☎484-6279

ケーブルネット296では、初日・一般質問・最終日の模様を翌日午後5時30分に放送します。【地上デジタル112チャンネル、アナログ5チャンネル、デジタルCATV701チャンネル】

議会活動をお知らせします

平成21年度 議会報編集委員
小須田委員 檀谷委員 入江委員 上ノ山委員
平野委員 勝田座長 櫻井議長 萩原委員



夏休みは子どもたちにとって、特別な時間。勉強やクラブ活動に忙しくしている姿を見ると、幸せな子ども時代を過ごしているのか、とても気になります。日本の子どもは経済的に困難な状況にあります。どの子どもも将来に希望を持てる社会にしていきたい。議会全体でこの問題に取り組みたいと思います。

(議会報編集委員 上ノ山博夫)

新型インフルエンザ、百年に一度と言われるこの不況等々、そんな中でも市民の方々の笑顔を増やし、佐倉に住んでいるという満足度を高めていただく為に私たち議員は働いています。各常任委員会委員も新しいメンバーとなり、委員会付託された市の様々な問題をさらに深く研究・審議し、市民にとって最善な市政がなされるようチェックしていきます。

議会百景